

令和6年度出雲空港航空機事故消火救難訓練実施計画

1. 目的

出雲空港における航空機事故に迅速かつ適切に対応するため、出雲空港緊急計画等に基づき、空港内外の各関係機関が連携・協力のうえ実践的な消火救難訓練を実施することで、初動対応を含む各種緊急活動やその手順を習熟し、航空機火災の防御・人命救助・医療救護等の体制を確立するとともに各関係機関間の情報伝達手順を確認することを目的とする。

2. 日時 令和6年9月12日（木）
消火救難訓練時間 20：30～22：00

3. 場所 出雲空港（エプロン、場周道、出雲空港ターミナルビル、別館）

4. 主催 島根県出雲空港管理事務所

5. 事故想定

隠岐からのABC航空9999便ATR42型機（乗客定員48人）が滑走路07からの着陸に失敗し、滑走路を逸脱し草地で停止、機体が破損し火災が発生。多数の重軽傷者が出た模様である。

6. 訓練概要

航空機事故の発生を想定した救難救護訓練

①関係機関による緊急体制配備訓練

- ・災害対策本部の設置訓練

②救難救護訓練

- ・各消防本部、空港消火救難隊を中心とした負傷者の誘導・搬送訓練
- ・各消防本部、医療機関によるトリアージ訓練
- ・医療機関による負傷者の応急処置訓練
- ・救急車による負傷者の搬送訓練
- ・航空会社による旅客対応訓練

訓練終了後、参加者は除雪車庫前に集結し終了式を行う。

※詳細は「令和6年度出雲空港航空機事故消火救難訓練実施要領」により策定する。

7. 訓練実施上の留意事項

- ①小雨決行とするが、気象状況等による訓練中止の判断は、訓練当日の12時00分までに主催者が決定する。
- ②急患搬送等がある場合は、これを優先するものとし訓練時間範囲内で訓練内容等を調整または中止をする。
- ③訓練参加者は、主催者の指示に従い行動するとともに許可無く訓練区域外へ立ち入らない。

8. 参加予定機関

- ・ 出雲市消防本部 ・ 松江市消防本部 ・ 雲南消防本部
- ・ (一)島根県医師会 ・ (一)松江市医師会 ・ (一)出雲医師会
- ・ (一)島根県歯科医師会 ・ 出雲市歯科医師会
- ・ 県立中央病院 ・ 島根大学医学部附属病院
- ・ 雲南市立病院 ・ 益田赤十字病院
- ・ 出雲空港消火救難隊構成機関

出雲空港管理事務所、国土交通省大阪航空局出雲空港出張所、出雲航空気象観測所（サンネクト）、島根県防災航空管理所、島根県警察本部航空隊、出雲警察署出雲空港派出所、出雲空港ターミナルビル(株)、日本航空(株)山陰支店、日本航空(株)出雲空港駐在員事務所、日本エアコミューター(株)出雲空港駐在、(株)JALエンジニアリング出雲空港整備事業所、(株)フジドリームエアラインズ出雲空港支店、(株)エスエーエス出雲空港事務所、企業警備保障(株)出雲空港消防隊、永瀬石油(株)出雲空港サービス

- ・ 島根県（港湾空港課、医療政策課） ・ 出雲市
- ・ 出雲警察署 ・ 島根県消防学校

ほか（順不同）